

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 100-8798
 住 所 東京都千代田区霞が関一丁目3番2号
 氏 名 郵便事業株式会社 印
 代表取締役社長 鍋倉 眞一
 (代理人) 南関東支社長 安村 幸夫
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	郵便事業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎区南渡田町1-3		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	H	運輸業, 郵便業
	中分類	49	郵便業(信書便事業を含む)
主たる事業 の内容	郵便・国内物流事業、国際物流事業、ロジスティクス事業など		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	3,184	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t - CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	環境・社会貢献室
		所在地	東京都千代田区霞が関一丁目3番2号
		電話番号	03-3504-4401
		F A X 番号	03-3592-7620
		メールアドレス	0
受付欄	特記事項	事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成22年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 のある欄は、該当する 内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
4 印の欄は記入しないでください。
5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標排出量
排出量	(実) 4,570 t-CO ₂ (調) 3,816	(実) 5,388 t-CO ₂ (調) 4,548	(実) t-CO ₂ (調)	(実) t-CO ₂ (調)	(実) 4,432 t-CO ₂ (調)
削減率		(実) -17.9 % (調) -19.2	(実) % (調)	(実) % (調)	(実) 3.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積		単位		t - CO ₂ /m ²	
	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度の値	
排出量 原単位等の値	0.05209	0.06141			0.05052	
削減率		-17.9 %	%	%	%	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第 1 年度	7 月 1 日の宅配便事業統合に伴い機器類が増備され、また、社員の増加により P C や照明、空調の使用量が増えた。更に、猛暑による空調稼働時間が増えたため、排出量は増加した。またこの結果原単位も悪化した。
第 2 年度	
第 3 年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、 第 2 号、 第 4 号該当者等)	計 画	<p>高効率空調設備への更新</p> <p>全熱交換器の採用</p> <p>高効率照明設備への更新</p> <p>E S C Oサービスの導入</p> <p>環境への取組みとして、本社が作成した省エネに関する手引き「省エネ教育プログラム」に基づき、以下の項目について省エネルギー行動を実践</p>
	第 1 年度	<p>環境への取組みとして、本社が作成した省エネに関する手引き「省エネ教育プログラム」に基づき、以下の項目について省エネルギー行動を実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまめな消灯（使用していないエリアの消灯、比較的明るい窓際エリアでの消灯など） ・蛍光灯や電球交換時は、省エネ型の蛍光灯を採用 ・夏季軽装の実施 ・空調温度の設定（冷房は 2 8 、暖房は 1 8 に設定） ・冷暖房の運転時間の短縮 ・使用しない電気機器の主電源オフの徹底 ・電気機器の省エネモードの設定 ・乗用エレベーターの利用抑制（ 2 アップ、 3 ダウン）
	第 2 年度	
	第 3 年度	

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	<p>環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001を川崎港支店で認証取得している。</p> <p>環境への取組みとして、本社が作成した省エネに関する手引き「省エネ教育プログラム」に基づき、以下の項目について省エネルギー行動を実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の減量化・分別化の推進 ・エコ安全ドライブの推進 ・両面・縮小印刷によるコピー用紙使用枚数の削減
第1年度	<p>環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001認証を川崎港支店で更新取得した。</p> <p>環境への取組みとして、本社が作成した省エネに関する手引き「省エネ教育プログラム」に基づき、以下の項目について省エネルギー行動を実践した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の減量化・分別化の推進 ・エコ安全ドライブの推進 ・両面・縮小印刷によるコピー用紙使用枚数の削減
第2年度	
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	5,055	t-CO ₂
(調)	4,471	

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算I礼キ^{*}-使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算I礼キ^{*}-使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
川崎港支店	川崎区南渡田町 1 - 3	4911	郵便業	1,706 t-CO ₂
宮前支店	宮前区有馬4-1-1	4911	郵便業	816 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算I礼キ^{*}-使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400 ~ 500kl 未満	1
300 ~ 400kl 未満	2
200 ~ 300kl 未満	1
100 ~ 200kl 未満	1
100kl 未満	

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はI礼キ^{*}-使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はI礼キ^{*}-使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--